

# 安全だより

## 無事故・無災害を目指して

### ☆安全対策重点項目

- 【9月】 高所作業、脚立の取扱は安全就業基準に沿って作業する。
- 【10月】 安全帽・安全帯の装着を確実にする。
- 【11月】 十分な作業計画を立て、作業に邪魔なものは片付ける。

## 2024年度(令和6年度)第2号

発行日：2024年(令和6年)8月28日  
 発行：福山市新湍町二丁目21番30号  
 公益社団法人福山市シルバー人材センター  
 安全委員会  
 TEL (084) 953-5222  
 FAX (084) 953-5233

## ●事故発生状況 (2024年7月末現在) ※記事は6・7月発生分、○数字は累計番号

### ◎賠償事故 (当年度 6件 前年度 4件 対前年度+2件)

④	6月26日 (草刈作業) 飛石・自動車ガラス破損	賠償額 168,949円
	防護ネットの両端を会員が持ち、移動しながらナイロンコードを使用して除草作業を行っていた際、付近に駐車していた自動車のフロントガラスに飛石し、破損させたもの。	
⑤	7月4日 (草刈作業) 飛石・電話ボックスガラス破損	賠償額 賠償辞退
	防護ネットを設置せず、敷地内をナイロンコードを使用して除草作業を行っていた際、近くにあった撤去予定の電話ボックスに飛石し、破損させたもの。	
⑥	7月31日 (草刈作業) 飛石・自動車ガラス破損	賠償額 未定
	防護ネットを設置せず、被害車両にホコリ除けのブルーシートをかぶせて、刈払機で除草作業を行っていた際、自動車のサイドガラスに飛石し、破損させたもの。	

### ◎車両事故 (当年度 4件 前年度 0件 対前年度+4件)

③	6月10日 (ゴミ回収作業) 散水栓カバー破損	修理額 132,000円
	集合住宅中庭にて、パッカー車で剪定ゴミを回収する際、散水栓に乗り上げてカバーを破損させたもの。	
④	7月8日 (ゴミ回収作業) 狭隘路での石垣接触	修理額 修理不要
	パッカー車でゴミ回収作業現場へ移動中に、見通しの悪い狭隘路を近道として利用したため左カーブ時に内輪差で車両側面下部が石垣に接触したもの。	

### ◎傷害事故 (当年度 1件 前年度 5件 対前年度-4件)

①	6月14日 (剪定作業) 左手中指切り傷	補償額 21,000円
	トリマーを用いてサツキの剪定作業時、別場所に移動しようとした際にトリマーが完全に停止していないにもかかわらず左手を近づけたため、左手中指に切り傷を負ったもの。	

○「賠償事故」は3件中2件が「**ナイロンコードを用いた**」際に、飛石して対象物を破損したものでした。ナイロンコード式草刈機の取扱には細心の注意が必要であり、周囲に自動車や構造物がないかを十分に確認した上、**マンツーマンで養生にあたる**など、より厳重な飛散対策を講じた作業が必須です。

○「車両事故」は2件ともパッカー車でのゴミ回収作業中に発生しています。車両の大小に関係なく、**運転以外のことに意識が取られた場合**に発生しやすく、特に**狭い道を走る時**や**道を間違ったのでバックする時**などは十分注意してください。

○「傷害事故」は剪定作業でトリマーをしっかりと停止する前に触り、手を切ってしまいました。今一度、**基本操作の確認**をお願いします。

### ⚠️ ナイロンコードの危険性

- ①草刈時にナイロンコードが**上下方向**にしなるため刈刃が地面に当たる場所を**制御できません**。
- ②ナイロンコードで遠心力を利用して草を刈るため、**高出力となり飛石の頻度は高く、勢いは強くなります**。つまり…

**勢いよく全ての方向に飛石する**傾向があります。

☆使用に当たっての条件整理が必要!



## 安全第一 作業時ミーティングの実施を

ナイロンコードの使用や養生せずに草刈を行ったことが原因の事故が立て続けに発生しています。

安全就業には作業時のミーティングを実施して、危険要因や仕事の段取りを全員で共有することが重要です。

○作業前（全員で理解すること）

1. 会員相互の体調確認・準備運動
2. 服装・安全保護具の確認
3. 作業道具の点検
4. 作業全体の確認（納期・手順・危険箇所）

○受持場所での確認事項

①作業開始前

1. 打合せと異なる状況はないか
2. 既に損傷している箇所はないか

②作業終了時

1. 損傷箇所はないか

※異状があった場合はリーダーを通じて発注者・事務局へ報告してください。

○作業後

1. 会員相互の体調確認
2. 役割どおり履行されたか
3. ヒヤリハットの共有

○作業実施時の注意事項

- ・体力・集中力が充実しているうちに防護対策が必要な箇所や、作業難易度が高い箇所から取り掛かる。
- ・リーダーは必要に応じて現場を巡回して安全就業や履行状況を確認及び注意喚起。



厳しい残暑が続きます…

## 熱中症対策を続けてください

気象庁の季節予報によると2024年9月の予想気温が平年より高くなると予測されています。

9月後半に向けてだんだん過ごしやすくなっても、急に暑くなる日もあり熱中症対策は欠かせません。

熱中症取組強化期間は8月31日で終了しますが、状況に応じた対策をお願いします。

※対策法は「いきいきふくやま61号」を参照ください。

⚠️ 涼しいが続いた後に暑さが戻ったときは要注意

9月中頃になると、過ごしやすい日が続く、急に暑さが戻る時があります。その場合には体は涼しさに適応し、熱中症にかかりやすい状態になっていますので、こまめな水分補給と適度な休息をとってください。

涼しい服装に心がけてください。

👉 熱中症対策には涼しい服装が効果的

○首を守る

太い血管の多い首に冷感タオルなどを巻いて、体の内部からの体温上昇に備えてください。

○頭を守る

帽子の着用は体温上昇抑制に効果的です。「日なたと日かげ」ほどに差がでます。

○インナーに工夫を

～綿より合成繊維が有効～

綿は吸湿性が高い反面、乾きにくく熱がこもりやすい材質です。汗をかく場合は、吸湿速乾に優れたポリエステルなどの合成繊維で製造されたスポーツウエアがおすすめです。



## ハチ刺されに注意

スズメバチは、9月から10月にかけて最も活発で攻撃的な時期になり刺されると命に関わる場合もありますので、次のことを参考に対応してください。

【予防】

- 長袖・長ズボンを着用し、露出部分を少なくする。
- 黒色は避け、白や黄色の服装・帽子を着用する。
- ハチの巣には近づかない。
- ハチから警告(周辺を飛び・あごをカチカチ鳴らす)を受けた場合、ゆっくり、静かに後退する。
- 攻撃されたときは、追い払うと余計に興奮させることになるため、慌てず静かに立去る。
- 虫刺されの薬、殺虫スプレーを携帯する。

【刺された場合】

- 刺された場所から離れる。
- 刺された箇所周囲を強くつまみ、毒を絞り出す。
- 流水等で水洗いし、タオル等で冷やす。
- 患部に虫刺されの薬を塗る。
- 医師の手当てを受ける。(発疹、流涙、せき、嘔吐、下痢の症状がみられる場合は至急!!)

